

東南村山からおいしさを極める！

# おいしい米づくり情報

第2号 播種～育苗初期編

発行：令和8年 4月7日

やまがた温暖化対応日本一米づくり運動  
村山総合支庁農業技術普及課

(TEL: 023-621-8295)

## 「健苗育成」と「土づくり」で初期生育確保

4月2日仙台管区气象台発表の山形県の季節予報では、向こう1か月（4/4～5/3）の気温の高い確率は80%で、期間の前半は気温がかなり高くなる見込みです。芽の伸びすぎに注意しましょう。

### ばか苗病の発生量「多い」予想

- ・近年ばか苗病の発生が多く見られており、**今年度の発生量も「多い」予想**となっています（県病害虫防除所）。
- ・1か月の**気温はかなり高くなる**と予報されていることから、**種子浸種においてイネばか苗病菌が増加**することが懸念されます。以下の対策を徹底しましょう。
  - 1 浸種中の感染拡大を防ぐため、**浸種水温は15℃を超えないよう**に管理を徹底する。
  - 2 催芽温度は30～32℃とし、必要以上の**長時間の催芽は避ける**。
  - 3 出芽の温度は30～32℃とし、処理期間が長くなりすぎないようにする。特に、無加温出芽では低温時の保温を徹底し、出芽温度を確保する。

### 育苗初期の温度管理・水管理

温度計は育苗ハウス(地上 1.5m)と苗床(地際)に設置しましょう。**こまめに温度を確認！！**

時期	昼間	夜間	管理点
出芽期	30～32℃		無加温出芽では、 <b>覆土から5～10mm出芽したら被覆資材を撤去</b> する。低温条件の出芽遅れに注意。
緑化期	25℃	15℃	外気温が25℃を超える日は、育苗ハウスを全開にして空気を交換し、熱がこもらないように管理する。
硬化期以降	20～25℃	8℃以上	夜や低温時は保温に努め、霜が予報される場合は、早めに育苗ハウスを閉める。

- ・灌水は早朝に1回が基本です。夕方の灌水は、床土の温度を下げるので避けましょう。
- ・プール育苗では、稲 1.5 葉期に床土の高さまで入水します(ハウスは開放)。稲 2 葉期以降の水深は、箱上 1 cmが目安です。苗が伸びやすくなるため、こまめにハウス温度や水温を管理しましょう。

### 土づくり資材の施用

- ・近年、土壌やかんがい水から供給されるケイ酸量が減少しています。ケイ酸資材の投入により、**①病害虫の抵抗力向上、②光合成効率の向上、③根の活力維持**が期待されます。積極的に施用しましょう。

**【施用の目安】 ケイカル 120kg/10a 及びようりん 30kg/10a 程度**

## 基肥散布

表：分施(基肥+追肥)体系における品種別基肥量の目安

品種名	はえぬき	つや姫	雪若丸	コシヒカリ	あきたこまち	ひとめぼれ
窒素成分 kg/10a	5.0~6.0	3.0~4.0	4.0~5.0	2.5~3.5	4.0~5.0	4.0~5.0

- ・基肥一発肥料を使用する場合は、品種ごとの基準量（基肥 + 追肥）を超えないように注意する。
- ・特別栽培（「つや姫」等）では、生産計画に申請した資材と施肥量を散布しましょう。
- ・「つや姫」は出荷基準を満たすため、地力に応じた肥培管理とします。復田への作付は行わない。
- ・「雪若丸」は初期生育確保が重要です。肥効調節型肥料を使用する場合は、溶出パターンが「雪若丸」の生育に適したもの（初期重点型等）を使用しましょう。

## 乾土効果

- ・**乾土効果**の発現を狙って耕起は早めに行い、作土全体を十分に乾燥させましょう。  
耕起後 5 日以上降雨がないと、土壤の乾燥が進み、土壤中の窒素が有効化して初期生育の確保が容易になります。

## 作土深の確保

- ・近年は作業を急ぐためか作土深が浅くなりがちです。作土深が浅いと根域が浅くなり、収量や品質が低下しやすくなります。  
ます。**作土深 15cm** を目標に耕起を行い、**①根域の拡大と根の活力維持、②地力窒素の発現と養分保持・供給力の増強**を狙いましょう。トラクターの馬力に合わせたスピードで耕起を行いましょ。

## 燃油高騰対策

最近の国際情勢の影響で、軽油などの燃料価格が高騰しています。ちょっとした工夫でできる「エコ運転」で、燃料を節約してみませんか？

- ①タイヤの空気圧を適正に
- ②乾いた圃場から耕起開始（土壤水分が高いと燃費が悪い）
- ③エンジンの保守点検
- ④作業中断時はエンジンを切る（アイドリングストップ）
- ⑤クローラについた土をとる
- ⑥適切なエンジン回転数で作業（移動走行時は下げる）

## 水稻新品種「ゆきまんてん」が令和 9 年にデビューします

令和 9 年から新品種「**ゆきまんてん**」一般作付けが始まります。その特性を広く知ってもらうため、令和 8 年は管内 8 か所に展示圃を設置します。「**ゆきまんてん**」は、高温耐性や耐病性に優れ、近年の高温条件下でも安定した収量と品質が期待できる品種です。

当課では、展示圃での講習会の開催や、技術情報を通じた情報提供を行っていきます。

**STOP 農作業事故!!**

春の農作業安全運動展開中(4/10~6/10)

管内の稲作情報を  
LINEに掲載しています！

QRコードを読み込んで、  
グループ登録して下さい。



稲作情報